

カラオケは生涯学習

2002.2.1

VOLUME

6

Karaoke User Association

カラオケ使用者連盟は、生涯学習の場としての
カラオケ施設利用の促進を行います。

我々カラオケ店は、日本が世界に誇る「カラオケ文化」発
信の担い手です。今直面している問題、解決すべき問題を
皆で団結して考えましょう。

発行/カラオケ使用者連盟

〒141-0021 東京都品川区上大崎2-24-11

目黒西口マンション2号館503

TEL 03-3495-5695 FAX 03-3495-5694

第13回全国生涯学習フェスティバル

「まなびピア山形2001」はカラオケ使用者連盟が参加!

カラオケ使用者連盟では、今年で13回を迎える全国生涯学習フェスティバル「まなびピア山形2001」に
参加。数多くの来場者に歌う場を提供するとともに、カラオケを生涯学習として提案いたしました。

当連盟は、今年で13回目を迎えた全国生涯学習フェス
ティバル(平成13年10月11日(木)から10月15日(月)の5日間)
に参加いたしました。

「すてきだね まなびのぎずな ゆめネット」をテーマに、
「まなびピア山形2001」と銘打ち、山形市、米沢市、鶴岡市、
酒田市、新庄市、天童市を舞台に開催されたこの催しは、
文部省が毎年1回、開催都道府県との共催で行っているも
のです。

メイン開場の山形国際交流プラザ「山形ビッグウイング」
では、「生涯学習見本市」と題し、多彩な学習情報・素材、
学習活動の成果などを展示・発表・紹介。当連盟も「歌っ
て心身ともに健康に!カラオケは文化、そして生涯学習」
のテーマで、カラオケ体験コーナーを設置しました。

当連盟の展示ブースには一際多くの来場者が訪れ、子供
からお年寄りまで幅広い層の方々が最新の通信カラオケ機
器を体験。また来場者が実際に歌うだけではなく、最新機
器の数々の付加価値機能を体験する場としてご利用いた
だきました。老若男女を問わず、誰もが参加できる国民的娛
楽となったカラオケを生涯学習として、更にその場として
の施設利用をアピールできる絶好の機会となりました。



まなびピアノ山形 カラオケ大会

カラオケ使用者連盟が、 「まなびピアノ山形カラオケ大会」を開催！

第13回全国生涯学習フェスティバル「まなびピアノ山形2001」の参加団体主催事業として、当連盟はカラオケ大会を開催いたしました。会場には、全国から選抜された予選通過者とその応援団、また近隣のカラオケ愛好者の方々が多数集い、熱気あふれるカラオケ大会となりました。

『まなびピアノ山形カラオケ大会』は、平成13年10月11日（木）に、天童市市民プラザ（パルテ）で開催。第13回全国生涯学習フェスティバル「まなびピアノ山形2001」の参加団体主催事業として、当連盟が主催するもので、既にカラオケを生涯学習として楽しんでいる方に、発表の場を提供しようという意図で企画いたしました。

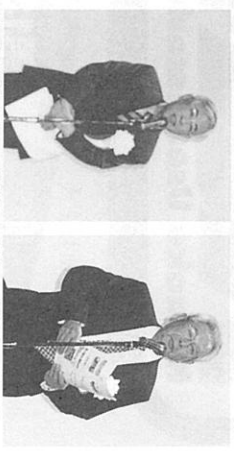
山形県および近隣県で行われた予選大会通過者と、全国からテーク応募による予選通過者総勢50名が集合。会場には出場者の応援団や近隣のカラオケ愛好者が集い、熱唱する各出場者に惜しみない拍手が贈られる和やかな雰囲気で行いました。

審査委員長には当連盟・岩切宏悦常務理事があたり、当連盟・鈴木武夫東北エリア理事、特別審査員として歌手の山口

まことさん（VAPレコード）、堀米節子さん（ミノルホソレコード）の4人が、予選参加2000名の中から選ばれた50名の歌声を公正に審査いたしました。また、「まなびピアノ山形2001」主催者である山形県および山形県教育委員会にも大会の主旨をご理解ご賛同いただき、成績優秀者に対して「山形県知事賞」「山形県教育委員会教育長賞」を贈呈していただくことになりました。

長時間の大会であるにもかかわらず、最終の表彰式まで誰一人席を離れることなく無事全ての演目が終了。栄えある「山形県知事賞」は、地元天童市から参加の伊沢和子さんの頭上に輝きました。

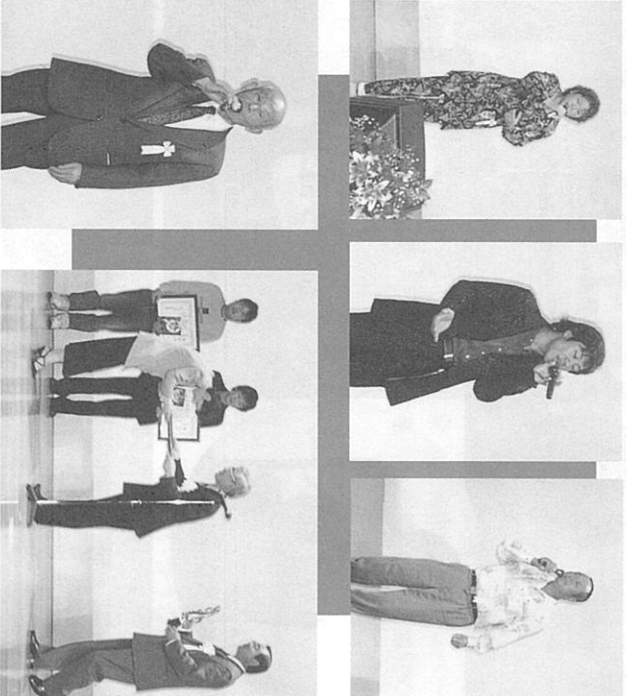
参加者からは、次年度以降も継続開催を望む声が多くあり、当連盟としても、こうしたカラオケ発表の場を今後積極的に設けて参りたく考えております。



審査委員長を務め、総評を
語る当連盟・岩切常務理事
開会を宣言する当連盟・
毛塚理事長



「まなびピアノ山形カラオケ大会」が、
ケーブルテレビ山形にて放映されました。
「まなびピアノ山形カラオケ大会」の模様は、ケーブルテレビ山形にて平成13年11月5日～11月11日（12:00～13:00と19:00～20:00）の1日2回に放映されました。



日時：平成13年10月11日(木)
会場：天童市市民プラザ（天童駅前/ビルテ）
主催：カラオケ使用者連盟
審査員(敬称略)：
岩切宏悦（カラオケ使用者連盟常務理事）
鈴木武夫（カラオケ使用者連盟東北エリア理事）
山口まこと（歌手）
堀込節子（歌手）

「まなびピアノ山形カラオケ大会」入賞者（敬称略）
山形県知事賞……伊沢和子（山形県）「文娘坂」
山形県教育委員会教育長賞……桜井高子（新潟県）「陽は昇る」
理事長賞……水谷博子（山形県）「これからかある」
歌唱賞……庄司ヒロキ（山形県）「MY LOVE」
敢闘賞……斎藤清隆（山形県）「北斗星」
努力賞……石川あきる（山形県）「女の駅」
熱演賞……及川洋子（岩手県）「抱いてサンバナイト」
特別賞……佐藤清雄（山形県）「孫むいき」
特別賞……田中はつ江（山形県）「つぐない」
特別賞……長南美香（山形県）「Look Back Again」
特別賞……田村徳太郎（山形県）「憧れのハワイ航路」

「まなびピアノ山形カラオケ大会」について

「まなびピアノ山形カラオケ大会」は、第13回全国生涯学習フェスティバル「まなびピアノ山形2001」（平成13年10月11日～15日）の参加団体主催事業として、カラオケ使用者連盟が主催するカラオケ大会です。

カラオケ使用者連盟は、平成11年10月7日～11日に開催された「第11回全国生涯学習フェスティバル/まなびピアノ広島

’99」に参加。メイン会場に「カラオケ体験コーナー」を設置し、多数の来場者に最新のカラオケ機器を体験していただきました。

昨年「第12回全国生涯学習フェスティバル/まなびピアノ三重2000」（平成12年11月1日～5日）では、「カラオケ体験コーナー」を一步進めたものとして「まなびピアノ三重カラオケ大会」を企画

いたしました。これは、既にカラオケを生涯学習として楽しむ方に発表の場を提供し、広くその裾野を広げることを目的として実施。

今回の「まなびピアノ山形カラオケ大会」は、当連盟の課題である「生涯学習の場としてのカラオケ施設利用促進」の啓蒙を行う上で重要な意味を持つものと考え、昨年度に引き続き開催いたしました。

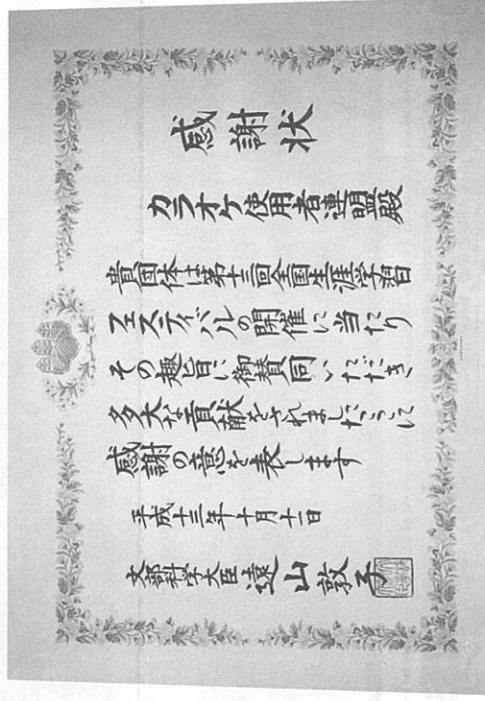
カラオケ使用者連盟に、 文部科学大臣より感謝状の授与。

生涯学習の振興並びに生涯学習フュスティバル等行事参加活動団体の中から、特にその尽力が顕著な団体を対象に、文部科学省から文部科学大臣感謝状が交付されます。今回の「まなびピア山形2001」参加では、これまでの当連盟活動の功績が認められ交付対象団体に選ばれました。平成13年10月11日(木)、山形県郷土館「文翔館」(山形県山形市)において執り行われた交付式には、当連盟・毛塚昇之助理事務長が出席し、感謝状を受理いたしました。



感謝状を受理する当連盟・毛塚理事長(右)

今後は、この栄誉を誇りに「生涯学習の場としてのカラオケ施設利用促進」「カラオケを通じた文化振興活動の推進」をテーマに、更なる活動の拡大を目指してまいります。会員各位の尚一層のご協力をお願い申し上げます。



音楽著作物使用料の団体割引(2割引)が、 当連盟にも適用されています。

かねてより会員各位から強い要望のあった「音楽著作物使用料の団体割引/2割引」(以下「団体割引」)が、本年4月より当連盟にも適用されています。これは、既に団体割引適用団体である全国社交飲食業生活衛生同業組合連合会(以下「全社連」)のご協力により、団体割引適用を希望される当連盟会員各位を、全社連の賛助会員として登録することにより可能となります。全社連および当連盟は、共に団体を構成する社交場の環境衛

生と社会基盤の向上を目的に、今後相互交流を行ってまいります。団体割引の特典を享受される賛助会員各位におかれましては、その趣旨に賛同し、全社連の組織拡大および全社連が推進する著作権啓蒙活動にご協力の程お願い申し上げます。当連盟といたしましては、今回の団体割引適用を機に、更なる「カラオケ使用者を取り巻く諸問題の解決」のために、全力を尽す所存でございます。何卒、より一層のご助力を賜りますようお願い申しあげます。

※既に会員各位へはご通知させていただいておりますが、未だ適用となっていない方でJASRAC使用料の2割引をご希望の方は、本部事務所までご連絡いただければ幸いです。

会費変更について

【旧定款】

- (入会金及び会費)
第7条 本会の入会金は、次のとおりとする。
- (1) 正会員 1店舗及び1施設500円
 - (2) 賛助会員 なし
- 2 本会の会費は、次のとおりとする。
- (1) 正会員 1店舗及び1施設年額1,000円、ただし複数のカラオケ機器を設置するカラオケボックスなどの施設は、500円をカラオケ設置台数に乗じた額を1店舗及び1施設の年額とする。
 - (2) 賛助会員 年額10,000円/1口、1口以上

【新定款】

- (入会金及び会費)
第7条 本会の入会金は、次のとおりとする。
- (1) 正会員 1店舗及び1施設500円
 - (2) 賛助会員 なし
- 2 本会の会費は、次のとおりとする。
- (1) 正会員 1店舗及び1施設年額3,000円とする。ただし複数のカラオケ機器を設置するカラオケボックスなどの施設は、カラオケ機器1台目を3,000円とし、2台目以降は1台につき1,000円を当該カラオケ設置台数に乗じたものとし、1台目と2台目以降の合算額

を年額とする。

- (2) 賛助会員 年額10,000円/1口、1口以上
- ※アンダーラインの部分が、改定箇所となります。

【適用措置】

左記定款の改定は、平成13年10月1日以降より適用しております。尚、平成13年9月30日までの入会者については、経過措置として、旧定款年会費を2ヶ年据え置きものとし、平成15年度年会費(平成15年3月27日引き落とし分)より新定款年会費を適用する。

学校週5日制時代の生涯学習について

平成14年4月から実施の学校週5日制は、学校教育に大きな変化をもたらすばかりでなく、「生涯学習の場としてのカラオケ施設利用促進」を推進する私たちにとって、非常に大きな意味を持ちます。

平成14年4月から実施される学校週5日制の導入は、単に子どもたちの休日が増えるというだけでなく、子どもたちの生活を全体的に見直し、「生きる力」を育むことを狙いとしています。即ち、学校休業日を有効に利用し、社会全体が“まなび”の場となるべく生涯学習社会を築き上げようということです。

一人ひとりが生涯を通じて追求する趣味を持ち、スポーツに親しんだり、活動をもにす仲間を持つということが、生涯学習社会実現の具体的な目標ですが、子どもの頃から身近な生活の場（地域社会）で様々な活動に親しめる環境造りが課題となります。また、高齢化社会における潜在的な教

育資源として、高齢者と子どもたちと世代交流の場を、地域社会のなかに創り出すことも大切なことと考えられています。

子どもが休日の過ごし方を自分で決め、各自がプライドをもって選択できる様々な選択肢を用意することは、生涯学習社会を創る上で重要なことです。

平成6年度の教育白書（文部科学省）に「わが国でもっとも盛んな文化活動はカラオケである」と記載されているように、地域社会においても、カラオケが生涯学習として選択肢の一つであるという認識が強いです。今後、公共施設を利用した学習プログラムの中にも、カラオケが多数盛り込まれることが予想されます。カラオケ使用者

連盟は、カラオケは生涯学習であると考え、同時にその成果を発表する場の重要性を広く社会に提唱してまいりました。今後も、「生涯学習としてのカラオケ施設利用促進」のテーマの下に、更なる活動の拡大を目指してまいります。

学校週5日制の実施

1992年度、月1回の土曜日休業でスタートし、1995年度に月2回に拡大されました。2002年度から実施の完全週5日制で、1年の45%に当たる165日間で、学校休業日となります。

カラオケ使用者連盟は、文部科学省が啓蒙・推進する『「子どもと話そう」全国キャンペーン』を応援します。

カラオケ使用者連盟は、『子どもと話そう』全国キャンペーンの趣旨（下記参照）に賛同し、今後本機関紙を通じて、キャンペーン活動報告並びに会員各位が参加可能なイベント・活動等をご紹介します。

『「子どもと話そう」全国キャンペーン』について

子どもたちをめぐめる問題は、学校でのいじめ、性をめぐめる問題など、極めて深刻な状況にあります。こうした中、文部科学省では、平成9年8月来、家庭や地域社会全体で子どもとふれあい、話し合う機会を充実するとともに、心豊かな子どもたちを育むため、『子どもと話そう』全国キャンペーンを実施しています。

私たちは、大人が日頃から子どもたちとふれあい話し合う時間を持つことによって、彼らの心のシグナルに気づ

会員各位におかれまして、子ども連れ顧客への特典提供等キャンペーンに即した催しを実施する際など、文部科学省作成のキャンペーン告知ポスターを店舗へ掲示ご希望の場合は、当連盟本部事務局までご連絡下さい。また、各工

き、受け止めることができるようになる、心の奥で悩み、救いを求めている子どもたちと正面から、暖かく毅然と向かい合うことができるようになる、と考えます。

文部科学省では、国立の施設等機関、関係省庁、各都道府県・指定都市教育委員会、民間の法人・団体・企業などに幅広く呼びかけ、キャンペーンの趣旨に即した取組を求めてきました。文部科学省における関連事業や広報活動の実施はもとより、関係各位の参加の



下、運動の輪は広がりが、それぞれの立場から積極的に様々なプランが実施・計画されています。近頃、子どもたちと話をしています。

【キャンペーンについてのお問い合わせ】

文部科学省生涯学習政策局生涯学習推進課
〒100-0013 東京都千代田区霞が関3-2-2
TEL/03-52553-4111
内線[2642・2092]

「カラオケ使用者連盟」 入会のご案内

平素は「カラオケ使用者連盟」の活動に深いご理解を賜り、厚く御礼申し上げます。ご承知の通り当連盟は「生涯学習の場としてのカラオケ施設利用促進」カラオケを通じた文化振興活

動の推進」カラオケ使用者を取り巻く諸問題の解決」などをテーマに、カラオケ設置店による全国組織として活動致しております。

会員各位のお知り合いに当連盟の趣旨にご賛同いただける方がいらっしゃいましたら、是非当連盟へのご入会をおすすめいたします。幸いです。ご入会に関しては右記までご連絡下さい。

カラオケ使用者連盟 本部事務所
TEL 03-3495-5695
FAX 03-3495-5694
〒141-0021 東京都品川区上大崎2-24-11
目黒西口マインション2号館503